

a を定数とし、曲線 $y = f(x) = x(x^2 - a)$ 上の点 P における接線を l とする。この曲線と接線 l との P 以外の共有点を Q とし、点 Q における接線を m とする。 l と m が直交するような点 P が取れるための a の値の範囲を求める。次の各問に答えよ。

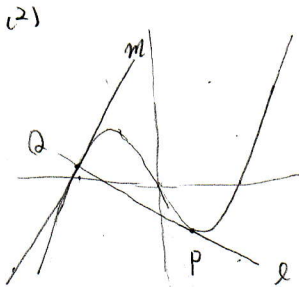
- (1) 点 P の x 座標を t として、点 P における接線 l の方程式を求めよ。
- (2) 2本の接線 l, m が直交するとき、 t が満たすべき関係式を求めよ。
- (3) l と m が直交するような点 P がとれるための a の値の範囲を求めよ。

〔日本歯科大〕

(1) $P(t, t^3 - at)$ $f(x) = x^3 - ax$ の接線 l の式は

$$y = (3t^2 - a)(x - t) + t^3 - at$$

$$y = (3t^2 - a)x - 2t^3$$



(2) l と $f(x)$ の交点を求める

$$x^3 - ax = (3t^2 - a)x - 2t^3$$

$$x^3 - 3t^2x + 2t^3 = 0$$

$$(x - t)^2(x + 2t) = 0 \quad \leftarrow x = t \text{ で重解をとる}$$

$$\therefore Q \text{ の } x \text{ 座標は } (-2t, -2t(4t - a))$$

従って m の傾きは $12t^2 - a$ である。直交するから $(12t^2 - a)(3t^2 - a) = -1$

(3) (2)より

$$36t^4 - 12at^2 - 3at^2 + a^2 + 1 = 0$$

$$36t^4 - 15at^2 + a^2 + 1 = 0$$

$$t^2 = p \text{ として } g(p) = 36p^2 - 15ap + a^2 + 1 \text{ を考える。 } p > 0 \text{ より}$$

$$p \text{ が正の実数解をとるためには } g(p) = a^2 + 1 > 0 \text{ より}$$

判別式 ≥ 0 とする。

$$g(p) = 36\left(p - \frac{5}{24}a\right)^2 - \frac{9}{16}a^2 + 1 \quad \frac{5}{24}a \geq 0 \text{ より } a \geq 0 \dots \text{ i)}$$

$$225a^2 - 4 \cdot 36(a^2 + 1) \geq 0$$

$$25a^2 - 16(a^2 + 1) \geq 0$$

$$9a^2 \geq 16$$

$$a^2 \geq \frac{16}{9}$$

$$a \leq -\frac{4}{3} \quad a \geq \frac{4}{3} \dots \text{ ii)}$$

数楽 <http://www.mathtext.info/>

ii)より

$$a \geq \frac{4}{3}$$